

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和06年12月10日

計画の名称	明石市公共下水道 ～「安全・安心のまちづくり」と「安定した機能の維持」～（３）（防災・安全）														
計画の期間	令和０７年度 ～ 令和１１年度（５年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	明石市														
計画の目標	浸水対策及び老朽化対策等を図ることにより、「安全・安心のまちづくり」と「安定した機能の維持」を目指す。														
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		9,388	A	9,388	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R7当初)	(R9末)	(R11末)
1	・下水道による都市浸水対策達成率を52.8%（R7当初）から53.0%（R11末）に増加 下水道によって都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、５年に１回程度発生する規模の降雨に対応する下水道整備が完了した区域の面積の割合。 下水道による都市浸水対策達成率（％）＝ ５年に１回程度発生する規模の降雨に対応する下水道整備が完了した区域の面積（ha）／都市浸水対策を実施すべき区域の面積（ha）（3,892.6ha）			
		53%	53%	53%
2	・下水道管渠のうち、改築が必要な老朽管渠の改築達成率100% 下水道管渠のうち、計画期間内において改築が必要な老朽管渠の改築達成率。 老朽管渠改築達成率（％）＝ 目標年次における改築済み老朽管渠の延長（km）／計画期間内に改築が必要な老朽管渠の延長（km）（1.8km）			
		0%	80%	100%
3	・浄化センター及びポンプ場のうち、改築が必要な施設の改築達成率100% 浄化センター及びポンプ場のうち、計画期間内において改築が必要な浄化センター及びポンプ場の改築達成率。 浄化センター・ポンプ場改築達成率（％）＝ 目標年次における改築済み施設数 / 計画期間内に改築が必要な施設数（９施設）			
		0%	10%	100%
4	・浄化センター及びポンプ場のうち、地震対策が必要な施設の地震対策達成率100% 浄化センター及びポンプ場のうち、計画期間内において地震対策が必要な浄化センター及びポンプ場の地震対策達成率。 浄化センター・ポンプ場地震対策達成率（％）＝ 目標年次における地震対策済み施設数／計画期間内に地震対策が必要な施設数（６施設）			
		0%	0%	100%
5	・浄化センターのうち、耐水化が必要な施設の耐水化達成率100% 浄化センターのうち、計画期間内において耐水化が必要な浄化センターの耐水化達成率。 浄化センター耐水化達成率（％）＝ 目標年次における耐水化済み施設数 / 計画期間内に耐水化が必要な施設数（１施設）			
		0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
あかし安全のまちづくり計画（明石市強靱化地域計画）に基づき実施される要素事業：A07-001、A07-002、A07-003、A07-004												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	明石市	直接	明石市	管渠（ 雨水）	新設	雨水管整備事業	雨水幹線及び面整備 φ2200 ～φ250 L=1,500m	明石市	■	■	■	■	■	1,475		－	
	A07-002	下水道	一般	明石市	直接	明石市	－	改築	公共下水道ストックマネ ジメント事業	改築更新、長寿命化 管渠（ 4処理区・1排水区） L=1, 800m・4浄化センター・5 ポンプ場	明石市	■	■	■	■	■	7,399		策定済	
	A07-003	下水道	一般	明石市	直接	明石市	－	－	浄化センター・ポンプ場 地震対策事業	耐震化 4浄化センター・2 ポンプ場	明石市	■	■	■	■	■	206		－	
	A07-004	下水道	一般	明石市	直接	明石市	－	－	浄化センター耐水化事業	耐水化 1浄化センター	明石市	■	■	■	■	■	308		－	
											小計							9,388		
											合計							9,388		

計画の名称	明石市公共下水道 ～「安全・安心のまちづくり」と「安定した機能の維持」～（３）（防災・安全）		
計画の期間	令和7年度 ～ 令和11年度（5年間）	交付対象	明石市

(市内全域)

A07-001 雨水管整備事業

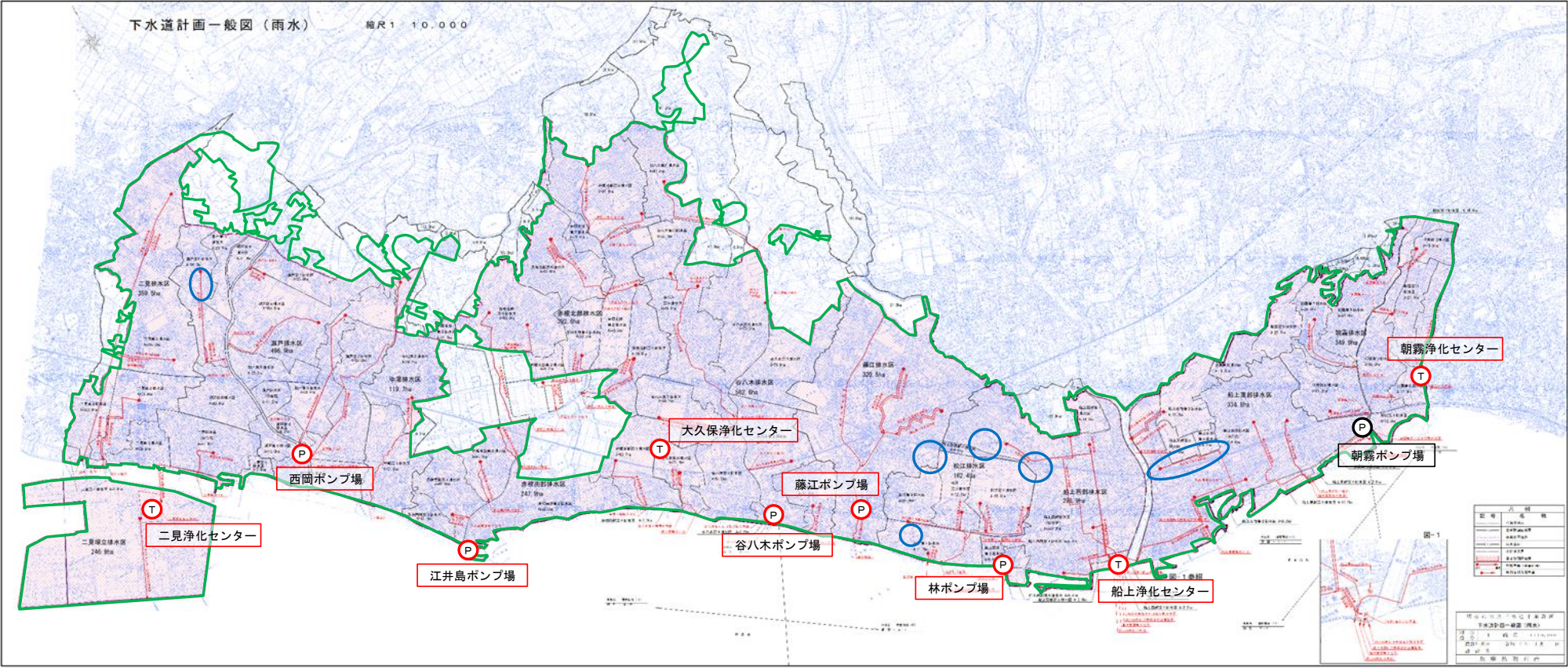
A07-002 公共下水道ストックマネジメント事業（管渠施設）

A07-002 公共下水道ストックマネジメント事業（浄化センター・ポンプ場）

A07-003 浄化センター・ポンプ場地震対策事業

A07-004 浄化センター耐水化事業

(主要な整備区域のみ記載)



凡 例	
-----	行政区境界
-----	下水道法による事業計画区域

事前評価チェックシート

計画の名称： 明石市公共下水道 ～「安全・安心のまちづくり」と「安定した機能の維持」～（３）（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 下水道の諸計画（下水道事業計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 関連する諸計画（神明地域総合治水推進計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の要望等の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が市民へ説明可能な内容となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 関連する関係機関等との調整が図られてい。	○
III. 計画の実現可能性 事業実施に向け、地域も納得している。	○
III. 計画の実現可能性 計画について、近隣住民等との間で合意可能である。	○